

2025年10月2日

外務大臣  
岩屋 毅 様

日本労働組合総連合会  
会 長 芳野 友子

## 中東地域における即時停戦と和平の実現を求める要請書

国連は8月22日、人道危機が続くパレスチナのガザ地区・北部ガザ市とその周辺で食料不足がさらに深刻化し、最も深刻な「飢きん」が発生していると発表した。

発表によれば、9月末までにガザ地区の中部や南部にも「飢きん」が拡大する可能性があり、来年6月までに5歳未満の子ども少なくとも13万2,000人が急性の栄養失調による死の危険にさらされる恐れがあり、アントニオ・グテーレス国連事務総長は、イスラエルによるガザ境界封鎖を「人災」と強く非難した。

現状のままでは人道状況のさらなる悪化は避けられず、何らの罪のない一般市民や子どもたちの犠牲が増え続けていくことに強い憤りを禁じ得ない。

一刻も早い停戦と和平の実現に向け、国際人道法上の趣旨にもとづき、下記の取り組みを要請する。

### 記

#### 1. 即時停戦の実現

国際人道法上の趣旨にもとづき、すべての当事者に対し、即時停戦の実現に向けた取り組みを働きかけること。

#### 2. 人道支援アクセスの確保

すべての当事者に対し、食料・水・医療・電力・通信等の人道支援アクセスの確保を働きかけること。

#### 3. 恒久的な和平の実現に向けた不断の外交努力

恒久的な和平の実現に向け、すべての当事者に対し、不断の外交努力を行うこと。

以 上